

保護者のみなさまへ

子どもが正しく安全にSNSを利用するためには、保護者自身もその利便性や危険性をしっかりと理解した上で、子どもに伝えることが重要です。

日頃からお子さんとコミュニケーションを取りながら、利用状況の確認と見守りをお願いします。

子どもに危険性を教える

SNSに起因する犯罪被害や、自分の発言の内容によっては犯罪の加害者になりうることなど、自分もいつその当事者になるか分からない事を教えましょう。

SNSの規約を確認する

Instagram、TikTok、X（旧Twitter）などのSNSには利用規約で年齢制限（13歳以上）が設けられています。

また、Youtubeを13歳未満の子どもが視聴するためには保護者が子どものアカウントをつくる必要があります。

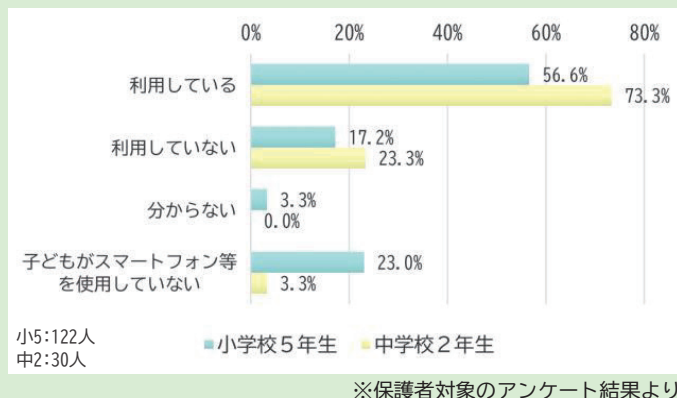
子どもにSNSを利用させる場合は利用規約をしっかりと確認しましょう。

ペアレンタルコントロール機能を活用する

子どもが利用するスマートフォンやタブレットなどには、利用時間の制限、子どもにとって不適切なサイトや動画の閲覧制限、アプリのダウンロード制限などを、保護者が設定できるペアレンタルコントロール機能が備わっています。

子どものトラブルを未然に防ぐため、必要に応じて設定を行い、設定が必要な理由も子どもと話し合ひましょう。

ペアレンタルコントロールを設定していますか？

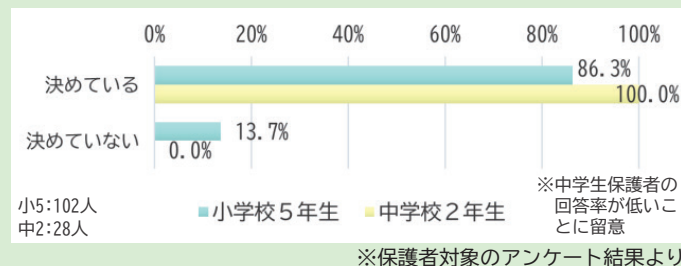


子どもの成長に合わせたルールをつくる

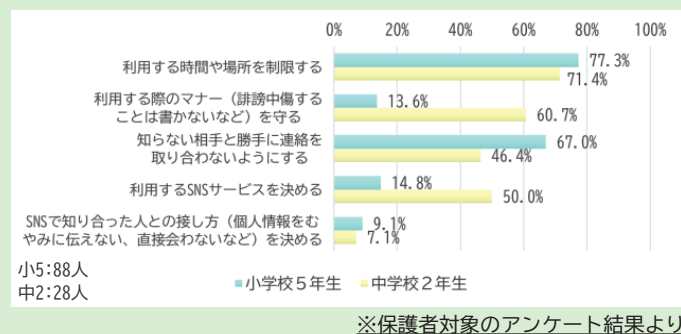
子どもが安心・安全にSNSを利用できるよう、やってはいけないことなどを明確にルールとして決めましょう。

ルールを決めるときは、保護者が一方的に押し付けるのではなく、子どもの成長段階に合わせてお互いに納得できるルールづくりを心がけましょう。

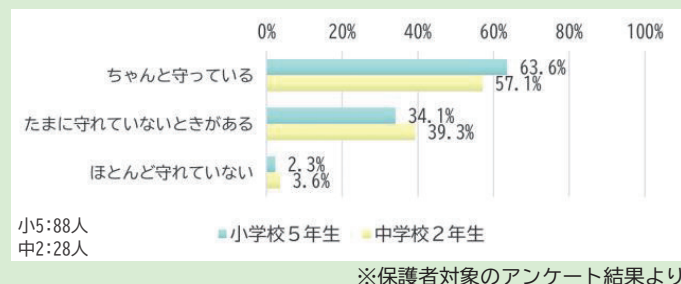
SNSの利用に関するルールを決めていますか？



どのようなルールを決めていますか？



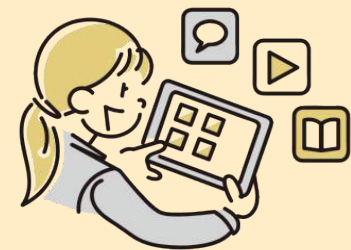
決めたルールを守っていますか？



子どもはSNSのやりとり以外にも楽しいと感じる場面があることがアンケート結果で出ています。子どもと話をしたり、遊んだりしているときに、スマホを見ながらになっていないかなど、自分自身の使い方についても見直してみてください。

上手にネットと付き合おう！
～安心・安全なインターネット利用ガイド～

SNSを含めたインターネットの正しい利用方法を対象者別にまとめたサイトです。（総務省）
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/



考えよう！話し合おう！ SNSの正しい使い方

近年、SNSがコミュニケーションの方法として欠かせないものとなっていることとともない、SNSを通じたトラブルも増えています。

そこで、小金井市の子どもたちのSNSの利用実態を把握するため、アンケート調査を行いました。

このリーフレットを活用しながらSNSの使い方について家族で話し合ってみてください。

令和6年度小金井市青少年問題協議会「SNSの利用等に関するアンケート」

○実施時期：令和6年11月

○対象：小学校5年生および中学校2年生（市立小・中学校それぞれ2校を選定し、小学校は3クラス、中学校は2クラスを対象に実施）

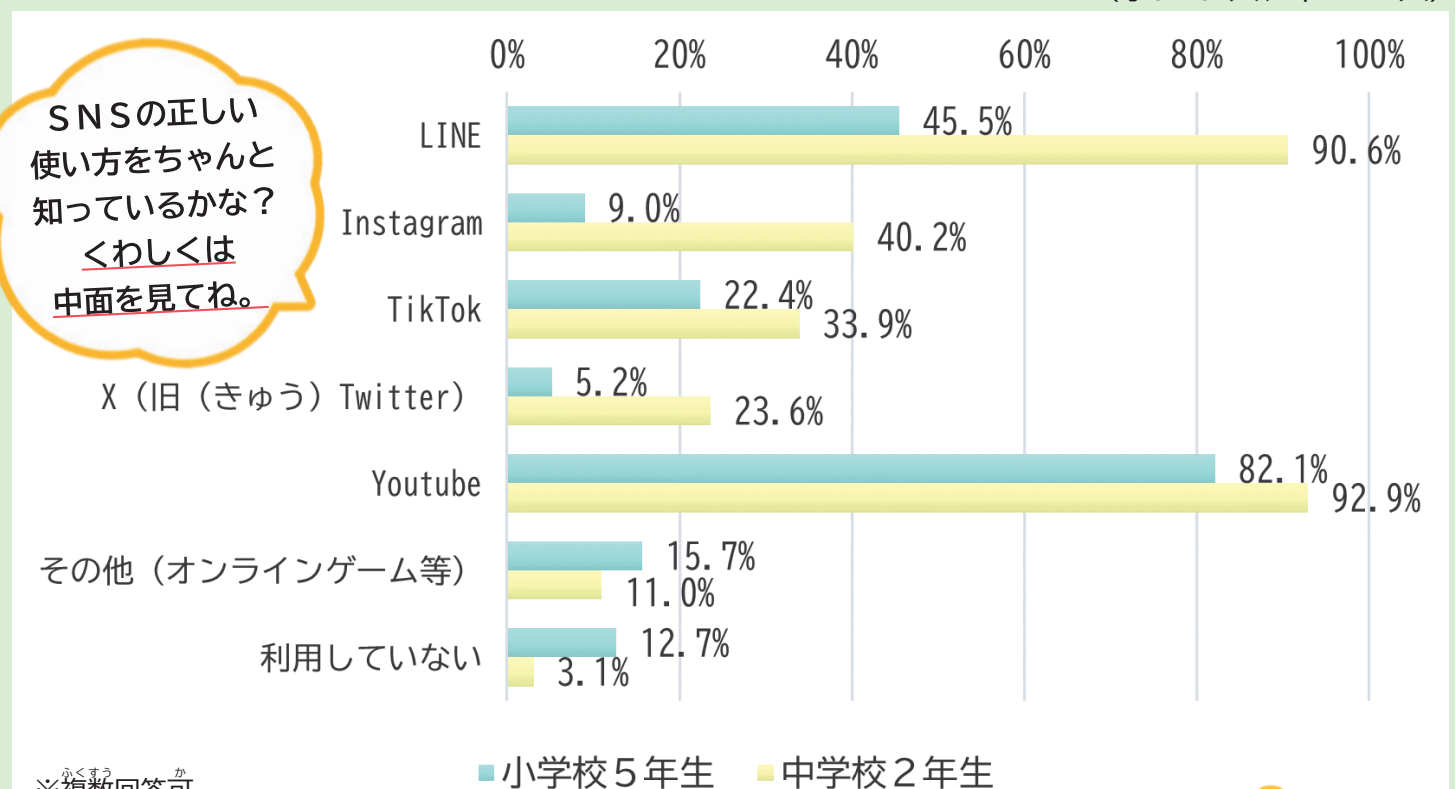
○回答数：小学校5年生（児童134人、保護者122人）
中学校2年生（生徒127人、保護者30人）

※このリーフレットにのせているアンケート結果は、今回行ったアンケートの中から一部を抜き出したものです。全体の結果はこちらから確認できます。



◆利用しているSNSの種類

※児童・生徒対象のアンケート結果より（小5:134人、中2:127人）



SNSの正しい
使い方をちゃんと
知っているかな？
くわしくは
中面を見てね。

※複数回答可

SNS（エスエヌエス）とは、Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のことです。友だちなどつながって、文章や写真、動画などで自分を表現（ひょうげん）したり、コミュニケーションしたりするサービスのことです。

小学校5年生は87.3%、中学校2年生は96.9%が何かしらのSNSを利用しています。

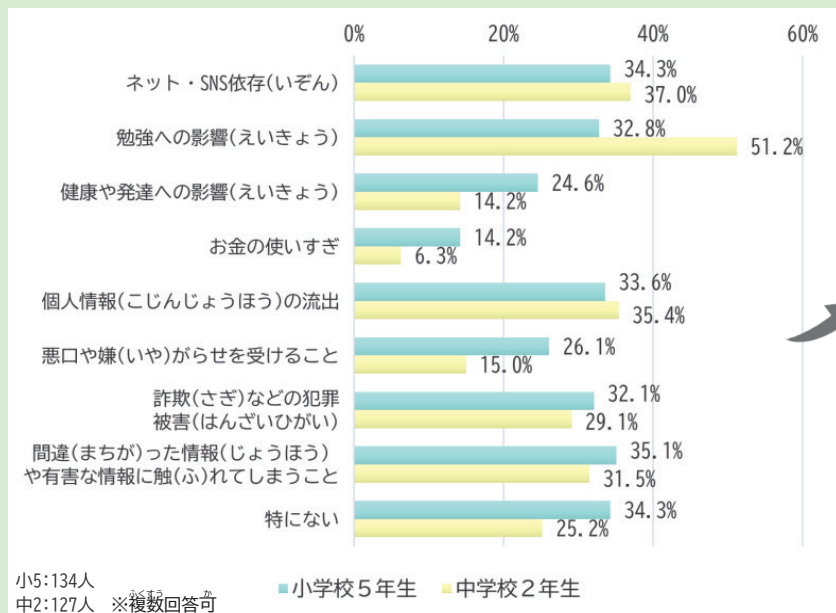
小金井市青少年問題協議会
（令和7年6月発行）

小金井市ホームページ <https://www.city.koganei.lg.jp/>
市政→審議会等→審議会等の一覧→福祉・健康・医療に関する審議会→青少年問題協議会（児童青少年課）
※アンケート全体の結果もこちらからご覧いただけます

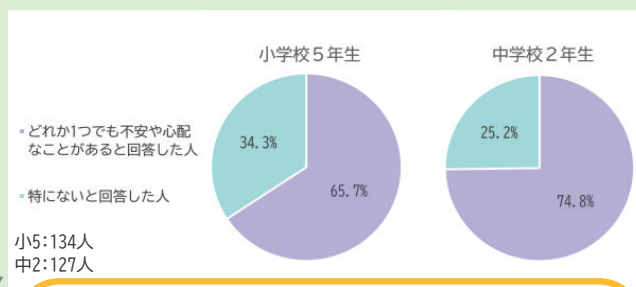


SNSの利用等に関する実態について

◆SNSの利用について不安や心配なことはありますか？

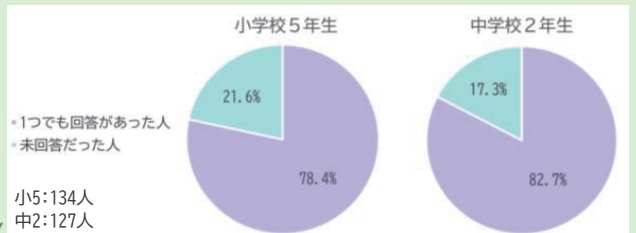
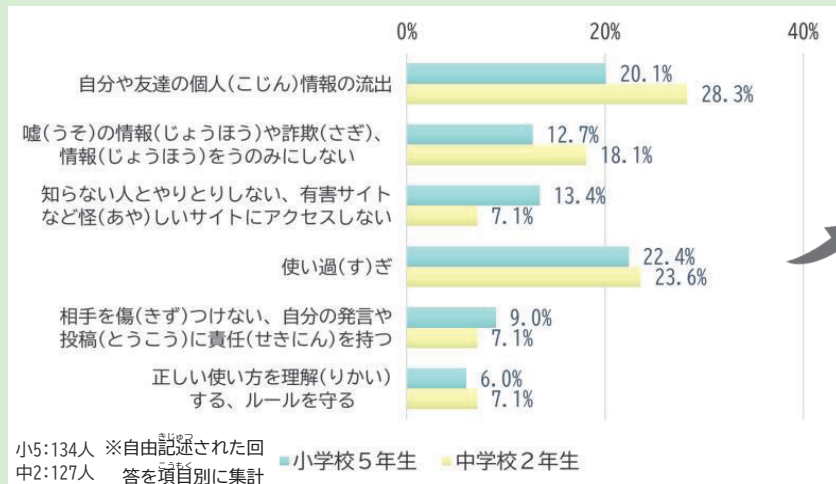


※児童・生徒対象のアンケート結果より



小学校5年生は65.7%、中学校2年生は74.8%が何かしらの不安や心配なことがあると回答しています。一方、「特(とく)にない」と回答している人も一定数いることが分かりました。

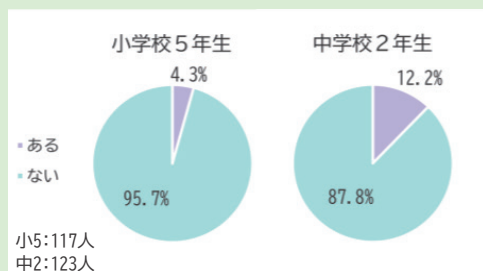
◆SNSを利用する上で、どのようなことに気をつけなければいけないと思いますか？



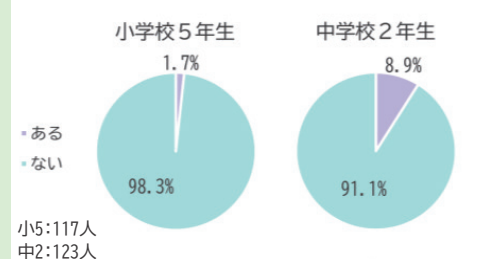
小学校5年生は21.6%、中学校2年生は17.3%が未回答だったことから、SNSを正しく使用するためのルールについて、継続して啓発していく必要があります。

◆SNSを利用して、次のようなことが起きたことがありますか？

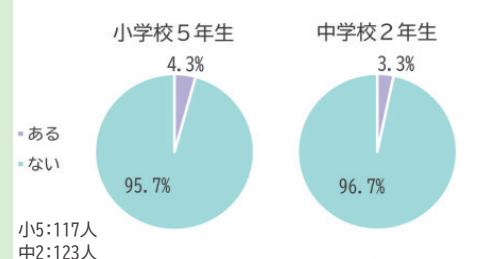
友達との関係が悪くなった



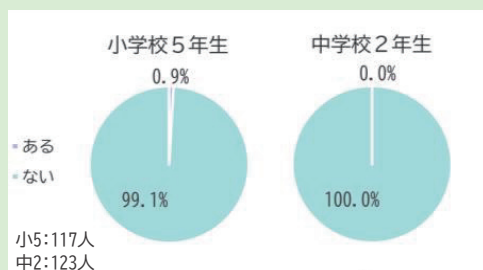
身に覚えのない料金の請求や迷惑メールが届いた



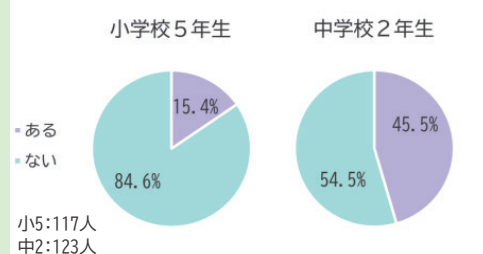
悪口や根拠のない嘘などを書き込まれた



個人情報(こじんじょうほう)を拡散された



SNSに集中するあまり、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりした



数は少ないですが、トラブルにつながる可能性がある経験をしたことがありました。また、中学生では45%以上の方が勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりした経験がありました。

SNSを正しくつかうために



個人情報(こじんじょうほう)を投稿(とうこう)しない

名前・住所・年齢・学校などの個人情報を投稿すると誰かが悪用するかもしれません。自分の顔だけでなく、映り込んだ景色や位置情報から個人情報が特定されることもあるので、写真や動画を投稿するときは十分注意しましょう。友達や家族の情報も同じように注意が必要です。

相手の気持ちを考える

何気ない発言で、相手が傷ついたり、困ったりするかもしれません。また、悪口などの誹謗中傷は、内容によって犯罪の加害者になることもあります。自分が書き込むことで相手がどう思うのかしっかり考えてやりとりするようにしましょう。

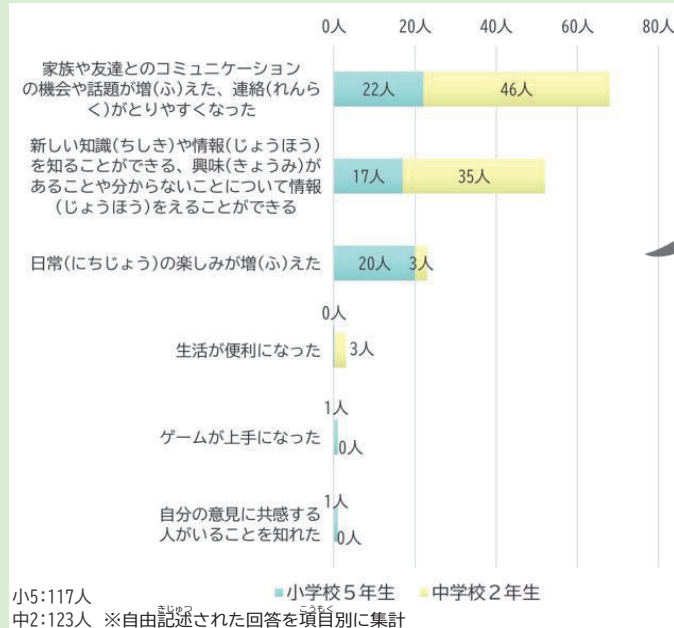
知らない人とのやりとりには注意する

SNSで知り合った人とやりとりをしていく中で、詐欺などの犯罪に巻き込まれるケースがあります。悪意をもって言葉巧みに近づいてくる人たちがいることを理解し、かんたんにやりとりしないように十分注意しましょう。

ルールを決める

SNSに夢中になりすぎると、勉強や睡眠の時間、家族とのコミュニケーションが少なくなってしまうことがあります。体調不良の原因になることもあるので、保護者と一緒にルールを作り、使いすぎに注意して使用するようにしましょう。

◆SNSを利用して、よかったこと



※児童・生徒対象のアンケート結果より

SNSは正しく使えば、とても有用なコミュニケーションツールです。

最近(さいきん)は、SNSに限らず様々な場面で情報に触れる機会が増えています。

子どもも大人も、情報が正しいものなのかどうかを見極め、必要な情報を自分自身で選ぶ力がこれまで以上に重要になってきます。

情報を扱う能力を養い、安心・安全にSNSを利用しましょう。

トラブルやこまったことが起きたらすぐに保護者や学校の先生などに相談しよう！

こまった時の相談先

こたエール

東京都が設置している子どものネットやスマホのトラブル相談窓口です。



メールやLINEでの相談もできます

電話相談：0120-1-78302

月～土曜日 15時～21時
※祝日・年末年始を除く

小金井市子どもオンブズパーソン

小金井市が設置している子どものための相談窓口です。

こまったことがあったらどんなことでも相談してね。



くわしくはこちら

